

入学おめでとうございます

小学部



中学部



- ◆ 6月26日(金)、2ヶ月半遅れで入学式を行いました。当日の式の様子はオンラインで中継しました。日本に一時帰国している新入生も出席し、門出の日を迎えた喜びを共有しました。また、密集を避けるために、在校生は、各教室からオンラインで出席し式を見守りました。
- ◆ ご来賓を代表して、大使館特命全権大使 上月 豊久 様、学校運営委員長 常原 豪 様からご祝辞をいただきました。心のもったはなむけの言葉に、新入生だけでなく在校生も大いに励まされました。

<代表児童生徒の「歓迎の言葉」と「誓いの言葉」>

小学部代表 二年 三浦 奈穂

一年生のみなさん、一年生になった気もちはどうですか。ドキドキしている人、ワクワクしている人、いろいろな気もちだとおもいます。わたしたちは、みなさんが学校にくることをたのしみにまっています。

いまから、モスクワ日本人学校のことをしようかいたします。学校では、まいにちおべんきょうをしたり、うんどうをしたり、おべんどうをたべたり、いまは、まだできないけれど、そとであそんだりします。

これからはじまるたのしいモスクワ日本人学校のぎょうじをしようかいたします。

十月に学しゅうはっぴょう会があります。大きなげきじょうで、げきをしたり、うたをうたったりします。わたしは、さいしよはドキドキしたけれど、みんながえがおで見てくれて、うれしかったです。ほかの学年のはっぴょうも見られて、おもしろいです。

ふゆには、雪がもったグラウンドで、そりをしたり、雪あそびをしたり

します。また、モスリンピックという大会もあります。ほかの学年の人たちと力を合わせて、どうしたらうまくいくだろうかとさくせんを考えて、きょうそうします。とてもありがたいです。三いまでに入ると、メダルがもらえます。

小学校に入ると、できることがたくさんふえます。おともだちもふえるので、うれしいです。分からないことがあったら、わたしたちにきいてください。上きゅう生のお兄さん、お姉さんたちもやさしく教えてくれます。あんしんしてくださいね。

一年生のみなさん、これからまい日、元氣いっぱいがんばりましょう。

- ◆ 式典全体の時間を短縮するために、在校生代表の歓迎の言葉を印刷物に替えたり、新入生紹介写真に合わせて録音した校歌を紹介したりしました。簡素な中にも思い出多い入学式になりました。

- ◆ 代表児童生徒の思いのこもった「歓迎の言葉」と「誓いの言葉」を掲載します。

中学部代表 二年 糸井 真起

長かった春休みも明け、無事に新学期を迎えることができました。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

在校生代表として、歓迎の言葉を述べさせていたただきたいと思います。

このモスクワ日本人学校は、今年で創立五十三年を迎える歴史ある学校です。私は、この場をお借りして学校についての話をさせていただきます。

まず、大きな行事を一つ紹介します。モスクワ日本人学校では、年に一度学習発表会があります。この学習発表会は、生徒が主体となり劇や音楽発表を行う行事です。昨年私たちは、『時の力タチ』という、修学旅行で訪れたリトアニアをテーマにした劇を披露しました。台本は一から実行委員が考え、配役も自分たちでオーディションを行い、決めました。うまくいかないことが沢山あり、意見が対立することも多々ありましたが、最終的には無事に劇を創り上げ、成功を収める事ができ

きました。学習発表会は、クラスメイトとの仲がより一層深まる上に、個々の個性を生かすことができる行事だと思います。

そして、このモスクワ日本人学校の良いところは、生徒同士の仲が良いことです。私は、この学校に転入してきて以来、心から学校を楽しんでいるようになりしました。今紹介しました学習発表会のように、学年をこえた交流も多く、そこにはいつも多くの学びがあります。

入学式を迎えるにあたって、心配だった人や不安だった人、様々だったと思います。でも、心配しないでください。モスクワ日本人学校は、とても楽しく、沢山の学びがあるところです。あの長い長い校舎の階段を上った先には、楽しい学校生活が待っています。ぜひ毎日楽しく学校生活を送ってください。



◆ 上月大使、常原委員長から祝辞をいただきました。

◆ 新入生紹介ビデオに合わせて校歌を紹介しました。



新入生代表 中学部一年 坂場 亮司

「良かったあ。」

この日が無事に迎えられ、今、本当にうれしく思います。来賓、保護者の皆さま、先生方、在校生の皆さん、素晴らしい入学式をありがとうございました。

僕たち小学部中学部新一年生十七名は、モスクワ日本人学校の一員となり、新たな一歩を踏み出します。

僕は今年の夏にモスクワへやってきました。新しい場所で新しい生活に挑戦したいと思ったからです。でも、その時は入学式が六月になるなんて、思ってもいませんでした。オンラインで友だちの顔を見ていたので、寂しくはなかったけれど、登校して教室で授業を受けること、うれしさはなんとも言えません。僕はこの体験を忘れず、これからの中学校生活では、仲間を大切に、そして時間を大切にして、新しいことに臆さず、挑戦していきます。

先生方、先輩方、僕たちにいろいろ教えてください。来賓、保護者の皆さま、僕たちを応援してください。新一年生十七名は、力を合わせて頑張ります。そして、これからのモスクワ日本人学校の生活を思いっきり楽しんでいきたいです。